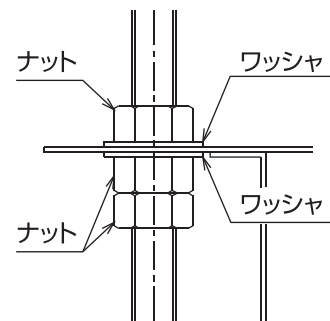
本体の取付・据付に関する注意事項

●機器の据付に不備がありますと、水漏れや感電・火災の原因になります。据付工事は工事説明書に従って確実に行ってください。
●電気工事は電気工事士の資格がある方が「電気設備に関する基準」「内線規定」および工事説明書に従って施工し、電源接続は必ず専用回路を使用してください。施工に不備があると、感電・火災の原因になります。

1.据付工事

・吊り孔間寸法は納入仕様書にて必ずご確認してください。
・吊り下げには、M8またはW3／8のハンガーボルト（メガ型の場合はM10）を使用し、ワッシャ・ダブルナットでしっかり固定してください。又、本体が水平になるように調整をしてください。（ドレンパンが逆勾配にならないよう特に注意してください。）
・ファンコイル周囲は保守・点検の為のスペースを確保してください。
・埋込型の場合は、本体の配管勝手側に必ず点検口を設けてください。
・機械油・食油・塩分・湿気・粉塵の多い所、温泉地帯・硫化ガス・発揮性ガス等が充満している所、電圧変動の多い所に設置しないでください。

2.配管工事

＜冷温水配管工事＞
・水出入口を間違わないように配管してください。
・機器のメンテナンス用に水出入口には必ず止水弁を取り付けてください。
・ユニット水出入口に配管を接続するときは、コイルに無理な力が掛からないようにしてください。
・管の切り口は「カエリ」を取り除き、ネジ部や管内はよく清掃してください。
・水質が悪いと、熱交換器等が腐食し、漏水する恐れがあります。
「JRA-GL-02冷凍空調機器用水質ガイドライン」に準じた水質をご使用してください。

＜ドレン配管工事＞・・・ファンコンベクタ（CW、FW、LW）は除く
・ドレンパンの排水口へ配管を接続するときは、ドレンパンに無理な力が掛からないようにしてください。
・ドレン配管は結露防止の為、保温を必ず施工してください。
・ドレン配管は、排水勾配を十分にとり、逆勾配にならないように施工してください。（排水勾配1／100以上）
・配管後に、排水が確実に行なわれていることを必ず確認してください。

3.凍結の防止

・水張り試験時等、冬期に熱交換器内の水が凍結する恐れがある場合には、循環ポンプを連続運転し水を循環するか、水張り試験時のみ不凍液を使用する等の処理を行ってください。凍結すると、コイルが破損し、水漏れをおこします。

4.電気部品・配線

- 電動機・スイッチ・端子台に付着・堆積したゴミは掃除機で除去ください。（電気部品にゴミが付着・堆積したまま運転しますと火災の原因となります）
- モータの保守は専門業者に依頼ください。（保守に不備がある場合、モータが焼損（発煙・発火）する可能性があります）
- ユニットの増設や電気配線変更の際は、納入仕様書の電気配線図を必ずご確認ください。
- １つの運転スイッチで複数のユニットを連動する場合は、リレーユニットを必要とする場合があります。（機種により、ユニットに親機・子機の区別があるので注意ください。）
- やむをえず、異機種または異サイズ連動を行う際はリレーユニットが必要となります。
- 既設ユニットとの連動を行う場合は、双方のモータが同一仕様であることを、必ずご確認ください。
- 誤配線や異機種・異サイズの連動を行うと、モータが焼損（発煙・発火）の可能性がありますので十分ご注意ください。
- 電気部品は経年変化します。メンテナンス時間を参考に、定期的な保守点検及び部品交換を実施ください。
- 電動機やコンデンサを交換する場合はユニットからファンボードを取り外して行ってください。
- 配線変更等で不明な点につきましては弊社に相談願います。

5.カセット形天井パネルの施工

- 天井パネルは風洞部は発砲ポリスチレン製、フェース部は樹脂製の為、取扱いには充分注意してください。
- 天井ボードの開口はユニット本体の吊り位置よりずれないようにしてください。（図面天井開口寸法±8mm以内）開口がずれて天井パネルに無理な力が掛かると、変形する恐れがあります。

6.試運転について

- パネル類・エアフィルタ等が取り付けられているか確認する。
- 電気配線に誤結線がないか確認する。
- 定格の電源電圧が供給されているか確認する。
- 運転スイッチによりファンの運転を行う。
- 熱交換器の出入口のバルブを開く。（通水の確認）
- エア抜きバルブにより熱交換器内のエア抜きを行う。この際に、エア抜きホースがドレンパンの内にあることをご確認してください。水漏れ等の原因になります。

◀187·188

7.結露防止について

- JIS A4008 の結露条件にて結露水が滴下しないことを確認しております。
右記の条件より厳しい条件で使用しますと結露水が滴下することがあります。
- ファンを停止したまま連続通水を行うと結露します。
必ずファン停止時は通水を停止してください。

項　目	試　験　条　件
吸込空気条件	DB27℃　WB24℃
入口水温	5℃
出口水温	9℃以下
運　転	低速運転で4時間連続運転

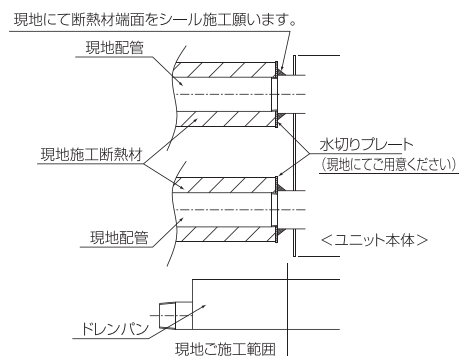
8.配管防露施工要領（参考）

水漏れ防止のため、下記に注意して施工を行ってください。

- 防露材の端面は、配管の結露水が吸収しないよう水切り板等で確実に処理してください。
- 水切り板はドレンパン内に収まるように施工してください。
- 防露材と水切り板の隙間、及び配管と水切り板の隙間は確実にコーキング処理してください。
- バルブ等が付く場合は、必ずバルブ本体の防露施工も行ってください。

SINKO

ファンコイルユニット
CLIPAK®
CP 型

工事説明書

1．安全にご施工いただくために

据付前によくお読みいただき、正しくお使いください。また、ユニットの本体に下記の記号が印刷されたラベル類が貼り付けてある場合、その箇所は特に注意してください。表示と記号の意味は次のようになっています。

● 危険の度合いを表す記号の区分

警 告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。
注 意	取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合。ただし、この場合でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

●危険の内容を表す記号の区分

	記号は、警告･注意を促す内容がある事を告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は回転体注意)が描かれています。
	記号は､禁止の行為である事を告げるものです｡図の中に具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	記号は、行為を強制したり、指示したり内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

2．本体の取付・据付に関する注意事項

警 告

据付工事は専門業者へ依頼する。

機器の据付に不備がありますと、水漏れや感電・火災の原因になります。据付工事は本工事説明書に従って確実に行ってください。
据付工事に不備がありますと、感電・火災・水漏れの原因になります。

強度の不十分な箇所への据付け禁止。

機器の据付は、重量に十分に耐えられる所に確実に固定してください。固定が不十分の場合は、本体の落下・転倒によりケガの原因になります。

電気工事は関連法律を守って正しく施工する。

電気工事は電気工事士の資格がある方が「電気設備に関する基準」「内線規定」およびこの工事説明書に従って施工し、電源接続は必ず専用回路を使用してください。
電源回路容量不足や施工に不備があると、感電・火災の原因になります。

水質基準に適合した冷水・温水を使用する。

水質が悪いと、熱交換器等が腐食し、漏水する恐れがあります。
「JRA-GL-02 冷凍空調機器用水質ガイドライン」に準じる。

注 意

納入仕様書も合わせてご確認ください。

施工前に工事説明書と合わせて、納入仕様書も必ずご確認願います。記載内容は標準仕様品が対象の為、特殊仕様は製品の仕様が若干異なることがあります。据付工事に不備がありますと、感電・火災・水漏れ・落下等の原因になります。

定格電圧以外での使用禁止。

本体の銘板に表示されている以外の電圧にて使用されますと、故障・火災・感電の原因になります。

場所に応じて漏電ブレーカを取り付ける。

漏電遮断器が取り付けられていないと、感電の恐れがあります。

アース工事を確実に施工する。

アースを行ってください。アース線はガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

据付・組立前に納入仕様書も合わせてご確認ください。

3．据付工事

- 天井開口寸法及び吊り孔間寸法等は納入仕様書にて必ずご確認してください。
  位置関係にズレがあると天井パネル取付時に不具合（天井パネルの変形・
  ワレ）が生じるおそれがあります。
- 吊り下げには、M8またはW3／8のハンガーボルトを使用し、
  ワッシャ・ダブルナットでしっかり固定してください。
  又、本体が水平になるように調整をしてください。
- ファンコイル周囲は保守・点検の為のスペースを確保してください。
- 本体の配管勝手側に必ず点検口を設けてください。
- 機械油・食油・塩分・湿気・粉塵の多い所、温泉地帯・硫化ガス・
  揮発性ガス等が充満している所、電圧変動の多い所に設置しないでください。

4．配管工事

＜冷温水配管工事＞

- 水出入口を間違わないように配管してください。
- 水出入口には必ずバルブを取り付けてください。
- 本体および装置全体の水が抜ける位置に排水弁を設けてください。
- 管またはバルブ等を熱交換器に接続するときは、熱交換器に無理な力が掛からないようにしてください。
- 管の切り口は「カエリ」を取り除き、ネジ部や管内はよく清掃してください。
- 配管の一部が本体に接触しないよう、また、保温・保冷を完全に施工してください。
- 水質が悪いと、熱交換器等が腐食し、漏水する恐れがあります。
  「JRA-GL-02 冷凍空調機器用水質ガイドライン」に準じた水質をご使用してください。

＜ドレン配管工事＞

- ドレンパンの排水口へ配管を接続するときは、ドレンパンに無理な力が掛からないようにしてください。
- ドレン配管は結露防止の為、保温を必ず施工してください。
- ドレン配管は、排水勾配を十分にとり、逆勾配にならないように施工してください。
  （排水勾配1／100 以上）
- 配管後に、排水が確実に行なわれていることを必ず確認してください。

5．凍結の防止

- 水張り試験時等、冬期に熱交換器内の水が凍結する恐れがある場合には、循環ポンプを連続運転し水を循環するか、水張り試験時のみ不凍液を使用する等の処理を行ってください。凍結すると、熱交換器が破損し、水漏れをおこします。

6．電気配線工事

- 結線の際は、納入仕様書の電気結線図を必ずご確認してください。
- 内部配線は工場で完了していますので電源を確実に接続してください。
- １つの運転スイッチで複数のユニットを連動運転する場合は、リレーユニットを必要とする場合があります。
  （機種によっては、ユニットに親機・子機の区別が有るので注意してください。）
  やむをえず、異機種または異サイズ連動を行う際はリレーユニットが必要です。また、既設ユニットとの連動を行う場合は、双方のモータが同一仕様であるか必ずご確認してください。
- アースは「内線規定」に基づいて施工してください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
- 誤結線に十分注意してください。誤結線で運転しますとモータの破損や出火の原因になります。

7．試運転方法

- パネル類・エアフィルタが取り付けられているか確認します。
- 電気配線に誤結線がないか確認します。
- 定格の電源電圧が供給されているか確認します。
- 運転スイッチによりファンの運転を行います。
- 熱交換器の出入口のバルブを開きます。（通水の確認）
- エア抜き弁により熱交換器内のエア抜きを行います。この際に、エア抜きホースがドレンパンの内にあることを確認してください。水漏れ等の原因になります。

8．結露防止

- JISの結露条件にて結露水が滴下しないことを確認しております。下記の条件より厳しい条件で使用しますと結露水が滴下することがあります。

項　　目	試験条件
冷水入口温度	5℃
吸込空気条件	DB27℃　WB24℃　RH78%
運　　転	低速運転で４時間連続運転

- ファンを停止したまま連続通水を行うと結露が起こりやすくなります。必ずファン停止時は通水を停止してください。

9．配管勝手の変更

- 配管勝手の変更はできません。

10．付属品

- メンテスペース仕切板
- 天井パネル吊りボルト（Ｍ６×90、ワッシャ）

● 配管防露施工要領（参考）

水漏れ防止の為、下記に注意して施工を行ってください。

- 防露材の端面は、配管の結露水が吸収しないように水切り板等で確実に処理してください。
- 水切り板はドレンパン内に納まるように施工してください。
- 防露材と水切り板の隙間、及び配管と水切り板の隙間は確実にコーキング処理してください。
- バルブ等が付く場合は、必ずバルブ本体の防露施工も行ってください。

新晃工業株式会社

東京支社	東京都中央区日本橋浜町2丁目57番7号	〒103−0007	TEL(03)5640−4155
大阪支社	大阪市北区南森町1丁目4番5号	〒530−0054	TEL(06)6367−1801
名古屋支社	名古屋市中村区名駅南1丁目24番30号	〒450−0003	TEL(052)581−8661
札幌営業所	札幌市中央区北二条西4丁目1番地	〒060−0002	TEL(011)231−2947
東北営業所	仙台市青葉区中央1丁目6番35号	〒980−0021	TEL(022)262−7445
九州営業所	福岡市博多区冷泉町5番35号	〒812−0039	TEL(092)291−8545

空調機器の総合保守
保守・点検・修理のご用命は

新晃アトモス株式会社

東京本部：東京都江東区新大橋1丁目11番4号 〒135−0007
TEL(03)5638−3800

大宮営業所：埼玉県さいたま市大宮区仲町2丁目75番 〒330−0845
TEL(048)658−5121

世田谷営業所：東京都世田谷区新町2丁目27番4号 〒154−0014
TEL(03)5450−6401

大阪支社：大阪府寝屋川市宇谷町11番13号 〒572−0856
TEL(072)811−3160

九州営業所：福岡市博多区冷泉町5番35号 〒812−0039
TEL(092)291−4332

名古屋営業所：名古屋市中村区名駅南1丁目24番30号 〒450−0003
TEL(052)589−1601

東北支店：宮城県仙台市青葉区柏木1丁目2番45号 〒981−0933
TEL(022)718−2770

沖縄営業所：沖縄県那覇市若狭2丁目3番21号 〒900−0031
TEL(098)868−5561

新晃空調サービス株式会社

神奈川県秦野市西大竹124番地の5 〒257−0012
TEL(0463)84−5811

北海道地区のご用命については、新晃工業株式会社札幌営業所にご連絡をお願いいたします。

ベジタブルインキを使用しています。

2012.06.2000 SKM

SINKO

ファンコイルユニット
SC・SCR 型
ファンコンベクター
CW 型

工事説明書

1．安全にご施工いただくために

据付前によくお読みいただき、正しくお使い下さい。また、ユニットの本体に下記の記号が印刷されたラベル類が貼り付けてある場合、その箇所は特に注意して下さい。表示と記号の意味は次のようになっています。

● 危険の度合いを表す記号の区分

記号	意味
警 告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。
注 意	取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、及び物的損害のみの発生が想定される場合。但し、この場合でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

●危険の内容を表す記号の区分

記号	意味
	記号は、警告・注意を促す内容がある事を告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は回転体注意）が描かれています。
	記号は、禁止の行為である事を告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	記号は、行為を強制したり、指示したり内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜いて下さい)が描かれています。

2．本体の取付・据付に関する注意事項

警 告

据付工事は専門業者へ依頼する。

機器の据付に不備がありますと、水漏れや感電・火災の原因になります。据付工事は本工事説明書に従って確実に行って下さい。
据付工事に不備がありますと、感電・火災・水漏れの原因になります。

強度の不十分な箇所への据付け禁止。

機器の据付は、重量に十分に耐えれる所に確実に固定して下さい。固定が不十分の場合は、本体の落下・転倒によりケガの原因になります。

電気工事は関連法律を守って正しく施工する。

電気工事は電気工事士の資格がある方が「電気設備に関する基準」「内線規定」およびこの工事説明書に従って施工し、電源接続は必ず専用回路を使用して下さい。
電源回路容量不足や施工に不備があると、感電・火災の原因になります。

水質基準に適合した冷水・温水を使用する。

水質が悪いと、熱交換器等が腐食し、漏水する恐れがあります。
「JRA-GL-02 冷凍空調機器用水質ガイドライン」に準じて下さい。

注 意

納入仕様書も合わせて御確認下さい。

施工前に工事説明書と合わせて、納入仕様書も必ず御確認願います。記載内容は標準仕様品が対象の為、特殊仕様は製品の仕様が若干異なることが有ります。据付工事に不備がありますと、感電・火災・水漏れ・落下等の原因になります。

定格電圧以外での使用禁止。

本体の銘板に表示されている以外の定格電圧にて使用されますと、故障・火災・感電の原因になります。

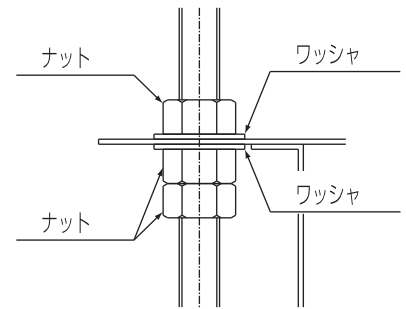
場所に応じて漏電ブレーカを取り付ける。

漏電遮断器が取り付けられていないと、感電の恐れがあります。

アース工事を確実に施工する。

アースを行って下さい。アース線はガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないで下さい。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

3．据付工事

- 吊り孔間寸法は納入仕様書にて必ずご確認して下さい。
- 吊り下げには、M8またはW3／8のハンガーボルトを使用し、
  ワッシャ・ダブルナットでしっかり固定して下さい。
  又、本体が水平になるように調整をして下さい。
- ファンコイル周囲は保守・点検の為のスペースを確保して下さい。
- 埋込型（SCR 型）の場合は、本体の配管勝手側に必ず点検口を設けて
  下さい。
- 機械油・食油・塩分・湿気・粉塵の多い所、温泉地帯・硫化ガス・
  発揮性ガス等が充満している所、電圧変動の多い所に設置しないで下さい。

4．配管工事

<冷温水配管工事>

- 水出入口を間違わないように配管して下さい。
- 水出入口には必ずバルブを取り付けて下さい。
- 本体及び装置全体の水が抜ける位置に排水弁を設けて下さい。
- 管またはバルブ等を熱交換器に接続するときは、熱交換器に無理な力が掛からないようにして下さい。
- 管の切り口は｢カエリ｣を取り除き、ネジ部や管内はよく清掃して下さい。
- 配管の一部が本体に接触しないよう、また、保温・保冷を完全に施工して下さい。
- 水質が悪いと、熱交換器等が腐食し、漏水する恐れがあります。
  ｢JRA-GL-02 冷凍空調機器用水質ガイドライン｣に準じた水質をご使用して下さい。

<ドレン配管工事>・・・CW 型は除く

- ドレンパンの排水口へ配管を接続するときは、ドレンパンに無理な力が掛からないようにして下さい。
- ドレン配管は結露防止の為、保温を必ず施工して下さい。
- ドレン配管は、排水勾配を十分にとり、逆勾配にならないように施工して下さい。
  （排水勾配１／100 以上）
- 配管後に、排水が確実に行なわれていることを必ず確認して下さい。

5．凍結の防止

- 水張り試験時等、冬期に熱交換器内の水が凍結する恐れがある場合には、循環ポンプを連続運転し水を循環するか、水張り試験時のみ不凍液を使用する等の処理を行って下さい。凍結すると、熱交換器が破損し、水漏れをおこします。

6．電気配線工事

- 結線の際は、納入仕様書の電気結線図を必ずご確認して下さい。
- 内部配線は工場で完了していますので電源を確実に接続して下さい。
- １つの運転スイッチで複数のユニットを連動運転する場合は、リレーユニットを必要とする場合があります。
  （機種によっては、ユニットに親機・子機の区別が有るので注意して下さい。）
  やむをえず、異機種または異サイズ連動を行う際はリレーユニットが必要です。また、既設ユニットとの連動を
  行う場合は、双方のモータが同一使用であるか必ずご確認して下さい。
- アースは｢内線規定｣に基づいて施工して下さい。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
- 誤結線に十分注意して下さい。誤結線で運転しますとモータが破損・焼失します。

7．試運転方法

- パネル類・エアフィルタ等が取り付けられているか確認する。
- 電気配線に誤結線がないか確認する。
- 定格の電源電圧が供給されているか確認する。
- 運転スイッチによりファンの運転を行う。
- 熱交換器の出入口のバルブを開く。（通水の確認）
- エアー抜きバルブにより熱交換器内のエアー抜きを行う。この際に、エアー抜きホースがドレンパンの内にあること
  をご確認して下さい。水漏れ等の原因になります。（CW 型は除く）

8．結露防止

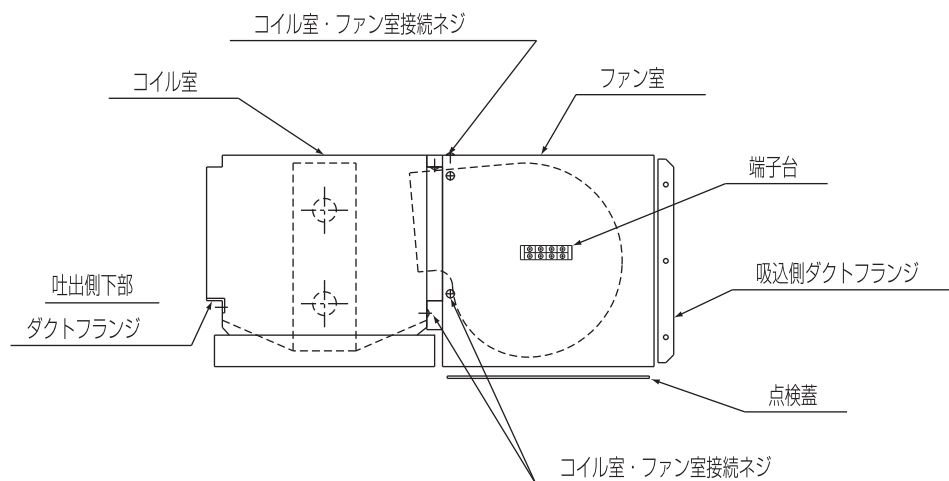
- JISの結露条件にて結露水が滴下しないことを確認しております。下記の条件より厳しい条件で使用しますと結露水が滴下することがあります。

項　　目	試験条件
冷水入口温度	5℃
吸込空気条件	DB27℃　WB24℃　RH78%
運　　転	低速運転で4時間連続運転

- ファンを停止したまま連続通水を行うと結露が起こりやすくなります。必ずファン停止時は通水を停止して下さい。

9．配管勝手の変更

- SC・CW 型は配管勝手の変更はできません。

- SCR型の配管勝手の変更は可能です。
  1．本体側面の端子台を取り外して下さい。
  2．本体側面及び天面、ファン室内（SCR−800・1200 型のみ）のネジを外して、コイル室とファン室を分離して下さい。
  3．ファン室より出ている、モータリード線の取り出し方向を逆にして、端子台を取り付けて下さい。
  4．コイル室の吐出側下部ダクトフランジを取り外して、逆側へ取り付けて下さい。
  5．コイル室を左右180°回転させて、ファン室とネジ止めして完成です。

10．吸込口の組替え（SCR−PB、PD 型の場合）

- 後吸込み（PB 型）と下吸込み（PD 型）の吸込み口変更方法は下記の要領にて行えます。
  1．点検蓋を取り外して下さい。
  2．吸込側ダクトフランジを取り外し変更位置に取り付けて下さい。
  3．点検蓋を取り付けて完了です。

11．付属品

- 可動羽根操作キー（ＳＣＲ型は除く）

● 配管防露施工要領（参考）

水漏れ防止の為、下記に注意して施工を行って下さい。

- 防露材の端面は、配管の結露水が吸収しないように水切り板等で確実に処理して下さい。
- 水切り板はドレンパン内に納まるように施工して下さい。
- 防露材と水切り板の隙間、及び配管と水切り板の隙間は確実にコーキング処理して下さい。
- バルブ等が付く場合は、必ずバルブ本体の防露施工も行って下さい。

新晃工業株式会社

東 京 支 社：東京都中央区日本橋浜町2丁目57番7号　〒103－0007　TEL（03）5640－4155
大 阪 支 社：大 阪 市 北 区 南 森 町 1 丁 目 4 番 5 号　〒530－0054　TEL（06）6367－1801
名古屋支社：名古屋市中村区名駅南1丁目24番30号　〒450－0003　TEL（052）581－8661
札幌営業所：札 幌 市 中 央 区 北 二 条 西 4 丁 目 1 番 地　〒060－0002　TEL（011）231－2947
東北営業所：仙 台 市 青 葉 区 中 央 1 丁 目 6 番 3 5 号　〒980－0021　TEL（022）262－7445
九州営業所：福 岡 市 博 多 区 冷 泉 町 5 番 3 5 号　〒812－0039　TEL（092）291－8545

空調機器の総合保守
保守・点検・修理のご用命は ──→ **新晃アトモス株式会社**

東 京 本 部：東京都江東区新大橋1丁目11番4号　〒135－0007
TEL（03）5638－3800
世田谷営業所：東京都世田谷区新町2丁目27番4号　〒154－0014
TEL（03）5450－6401
大 阪 支 社：寝 屋 川 市 宇 谷 町 1 1 番 1 3 号　〒572－0856
TEL（072）811－3160
東 北 支 店：仙台市青葉区柏木1丁目2番45号　〒981－0933
TEL（022）718－2770
九州出張所：福 岡 市 博 多 区 冷 泉 町 5 番 3 5 号　〒812－0039
TEL（092）291－4332
名古屋出張所：名古屋市中村区名駅南1丁目24番30号　〒450－0003
TEL（052）589－1601
沖縄営業所：沖縄県那覇市若狭2丁目3番21号　〒900－0031
TEL（098）868－5561

上記地区以外のご用命については
北海道地区は新晃工業㈱札幌営業所に
ご連絡をお願いいたします。

再生紙使用

2010.05.2000 SKM

工事説明書

ファンコイルユニット
SF・SFR型
ファンコンベクタ
FW 型

1．安全にご施工いただくために

この工事説明書はファンコイルユニットの搬入、据付、試運転にあたって重要な内容を記載しておりますので、ご施工前によくお読みください。
また、安全に関して特に注意すべき点は「警告」、「注意」に区分し、表記しておりますので遵守願います。
なお、納入したファンコイルユニットの構成や組込み機器図が綴じられております納入仕様書を併せてご確認願います。
ファンコイルユニット(SF・SFR型)、ファンコンベクタ(FW型)は、電気用品安全法対象外製品です。

危害・損害の程度を表す記号の区分

警 告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される危害の程度。
注 意	取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度。但し、この場合でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

危害・損害の発生事象・結果事象を表す記号の区分

	記号は、警告・注意を促す内容がある事を告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は回転体注意）が描かれています。
	記号は、禁止の行為である事を告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	記号は、行為を強制したり、指示したり内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

2．本体の取付・据付に関する注意事項

警 告

据付工事は専門業者に依頼する

機器の据付は専門業者が実施してください。
また、本工事説明書に従って確実に施工してください。
据付工事に不備がありますと、水漏れや感電・火災の原因になります。

強度の不十分な箇所への据付け禁止

機器の据付は、重量に十分に耐えれる所に確実に固定してください。固定が不十分の場合は、本体の落下・転倒によりケガの原因になります。

電気工事は関連法規を守って正しく施工する

電気工事は電気工事士の資格がある方が「電気設備に関する基準」「内線規程」およびこの工事説明書に従って施工し、電源接続は必ず専用回路を使用してください。
電源回路容量不足や施工に不備があると、感電・火災の原因になります。

水質基準に適合した冷水・温水を使用する

「(社)日本冷凍空調工業会ガイドライン：JRA-GL-02 冷凍空調機器用水質ガイドライン」の「冷水」及び「温水」に準じた水質の水を使用してください。水質が適切でない場合、コイル主管等に腐食が生じ水漏れの原因になることがあります。

注 意

納入仕様書を併せてご確認願います

本工事説明書は標準仕様品について記載しております。
また、納入仕様書には納入した製品の構成等が盛り込まれています。
本工事説明書と納入仕様書を併せてご確認いただき、安全で適切な施工をお願いします。

定格電圧以外での使用禁止

本体の銘板に表示されている以外の電圧にて使用されますと、故障・火災・感電の原因になります。

場所に応じて漏電ブレーカを取り付ける

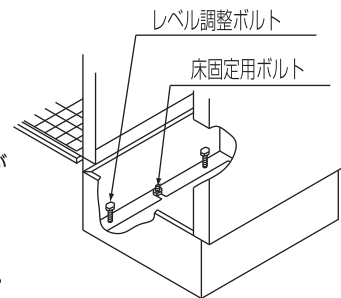
漏電ブレーカが取り付けられていないと、感電の恐れがあります。

アース工事を適切に施工する

アース線は適切に施工願います。
また、アース線はガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。
漏電の際、感電や火災の恐れがあります。

3. 据付工事

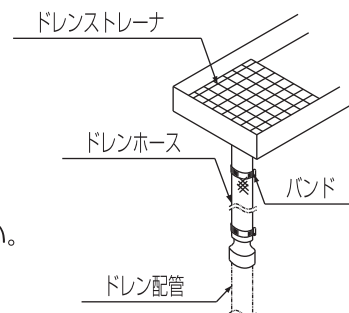
レベル調整ボルト
床固定用ボルト

- レベル調整ボルトで本体を水平に調整し、床固定ボルト（現地にて調達）で床面に確実に固定してください。
  固定強度が不十分な場合は、振動・騒音の原因になります。
  又、本体が水平に設置されていない場合はケース前板が脱着しにくくなることがあります(SF、FW型)
- ファンコイル周囲は保守・点検の為のスペースを確保してください。
- 埋込型（SFR 型）の場合は、本体の配管勝手側に必ず点検口を設けてください。
- 機械油・食油・塩分・湿気・粉塵の多い所、温泉地帯・硫化ガス・発揮性ガス等が充満している所、電圧変動の多い所に設置しないでください。

4. 配管工事

＜冷温水配管工事＞

- 水出入口を間違わないように配管してください。
- 水出入口には必ずバルブを取り付けてください。
- 本体および装置全体の水が抜ける位置に排水弁を設けてください。
- 管またはバルブ等を熱交換器に接続するときは、熱交換器に無理な力が掛からないようにしてください。
- 管の切り口は「カエリ」を取り除き、ネジ部や管内をよく清掃してください。
- 配管の一部が本体に接触しないよう、また、保温・保冷を適切に施工してください。
- 水質が適切でない場合、コイル主管等が腐食し、漏水する恐れがあります。
  「JRA-GL-02冷凍空調機器用水質ガイドライン」に準じた水質を使用してください。

＜ドレン配管工事＞・・・FW 型は除く

- ドレン配管と、ドレンパン排水口は付属のドレンホースで接続してください。
- ドレンホースは適当な長さに切断し、無理な曲がりを避け、ドレンパン排水口とホースバンドで確実に固定してください。
- ドレンストレーナはドレンパン内部のドレン排水口の上部に嵌め込んでください。
- ドレン配管は結露防止の為、必ず防露施工してください。
- ドレン配管は、排水勾配を十分にとり、逆勾配にならないように施工してください。
  （排水勾配１／100以上）
- 配管後に、排水が確実に行なわれていることを必ず確認してください。
- 配管工事の際、ケース側板を外す場合は、歪みがないように復旧してください。
  歪みがあるとケース前板が脱着しにくくなることがあります。(SF、FW型)

5. 凍結の防止

- 水張り試験時等、冬期に熱交換器内の水が凍結する恐れがある場合には、循環ポンプを連続運転し水を循環するか、水張り試験時のみ不凍液を使用する等の処理を行ってください。凍結すると、熱交換器が破損し、水漏れをおこします。

6. 電気配線工事

- 電動機・スイッチ・端子台に付着・堆積したゴミは掃除機で除去してください。
  （電気部品にゴミが付着・堆積したまま運転しますと火災の原因となります）
- 結線の際は、納入仕様書の電気結線図を必ず確認してください。
- アースは「内線規程」に基づいて施工してください。アースが不適切な場合は、感電の原因になります。
- １つの運転スイッチで複数のユニットを連動する場合は、リレーユニットを必要とする場合があります。
  （機種により、ユニットに親機・子機の区別があるので注意ください。）
- 異機種または異サイズ連動を行う際はリレーユニットが必要となります。
- 既設ユニットとの連動を行う場合は、双方のモータが同一仕様であることを必ず確認してください。
- 誤結線や異機種・異サイズの連動を行うと、モータが焼損（発煙・焼損）の可能性がありますので十分注意してください。
- 配線変更、異機種・異サイズの連動等、不明な点につきましては弊社に相談願います。

7. 試運転方法

- パネル類・エアフィルタ等が取り付けられているか確認してください。
- 電気配線に誤結線がないか確認してください。
- 定格の電源電圧が供給されているか確認してください。
- 運転スイッチによりファンの運転を行ってください。
- 熱交換器の出入口のバルブを開いてください。（通水の確認）
- エア抜き弁により熱交換器内のエア抜きを行ってください。この際に、エア抜きホースがドレンパンの内にあることを確認してください。水漏れ等の原因になります。（FW 型は除く）エア抜き後は必ずエア抜きバルブを閉じてください。

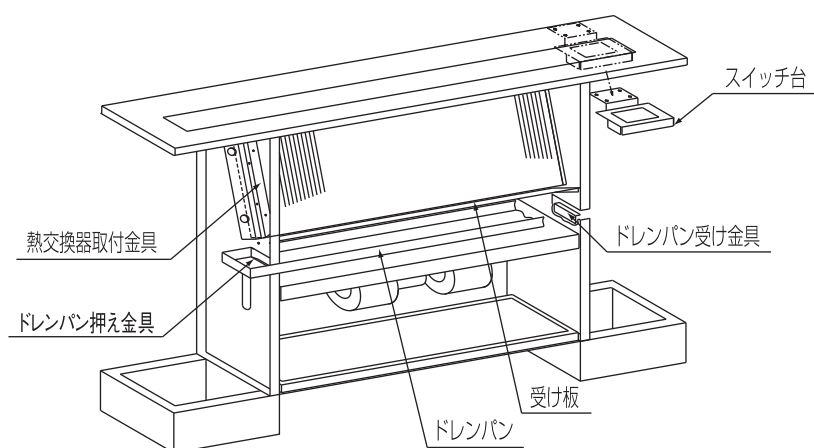
８．結露防止

- JISの結露条件にて結露水が滴下しないことを確認しております。下記の条件より厳しい条件で使用しますと結露水が滴下することがあります。

項　　目	試 験 条 件
冷水入口温度	５℃
吸込空気条件	DB27℃　WB24℃　RH78%
運　　転	低速運転で４時間連続運転

- ファンを停止したまま連続通水を行うと結露が起こりやすくなります。ファン停止時は必ず通水を停止してください。

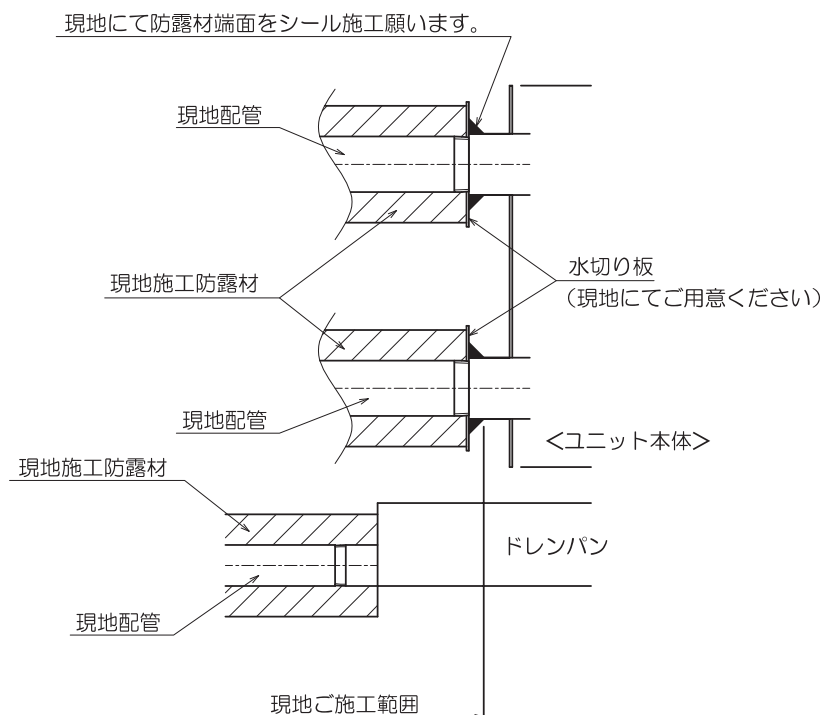
９．配管勝手の変更

- 配管勝手の変更は可能です。
熱交換器・エア抜き弁・ドレンパン・露受け・スイッチ台・配線を下記の要領で組替えてください。
  1．ケース前板とケース側板を取り外してください。（SF・FW 型）
  2．ドレンパン押え金具および受け金具を取り外してください。
  3．ドレンパンを手前側へ取り外してください。
  4．熱交換器の下部の受け板を取り外してください。
  5．熱交換器の取付金具（左右）を取り外してください。
  熱交換器を配管接続口の方向に、少しずらし、フィンおよび断熱材を破損しないように静かにフレーム内側より手前へ引き抜いてください。
  6．点検蓋の内側に取り付けてあるスイッチ台を左右組替えてください。（SF・FW 型）
  7．電動機のリード線を入れ替えてください。
  8．熱交換器頂部のエア抜き弁とドレンプラグの位置を上下付け替えてください。
  水漏れのないよう配管ネジ部のシールは適切に施工してください。
  9．熱交換器を180° 回転して差込み、取付金具（左右）を取り付けて固定してください。
  10．熱交換器の下部受け板を取り付けてください。
  11．ドレンパンを左右逆にして差し込んでください。
  12．ドレンパン押え金具および、受け金具を左右逆の位置にかえてください。
  この際に必ずドレンパンの勾配方向を確認してください。
  13．ケース前板とケース側板を取り付けて完成です。（SF・FW 型）
  ※FW 型はドレンパンが無い為、２．３．11．12の作業は除いてください。

10．付属品

- ドレンストレーナ（FW 型は除く）
- ドレンホース、ホースバンド（FW 型は除く）

● 配管防露施工要領（参考）

水漏れ防止の為、下記に注意して施工を行ってください。

- 防露材の端面は、配管の結露水が吸収しないように水切り板等で確実に処理してください。
- 水切り板はドレンパン内に納まるように施工してください。
- 防露材と水切り板の隙間、および配管と水切り板の隙間は確実にコーキング処理してください。
- バルブ等が付く場合は、必ずバルブ本体の防露施工も行ってください。

保守・点検・修理のご用命は

新晃アトモス株式会社

東 京 本 部：東京都江東区新大橋１丁目１１番４号 〒135-0007 ☎(03)5638-3800
大宮営業所：埼玉県さいたま市大宮区仲町２丁目７５番 〒330-0845 ☎(048)658-5121
世田谷営業所：東京都世田谷区新町２丁目２７番４号 〒154-0014 ☎(03)5450-6401
大 阪 支 社：大阪府寝屋川市宇谷町１１番１３号 〒572-0856 ☎(072)811-3160
九州営業所：福岡市博多区冷泉町５番３５号 〒812-0039 ☎(092)291-4332
名古屋営業所：名古屋市中区錦３丁目１１番３３号 〒460-0003 ☎(052)209-9941
東 北 支 店：宮城県仙台市青葉区柏木１丁目2番４５号 〒981-0933 ☎(022)718-2770
沖縄営業所：沖縄県那覇市若狭２丁目３番２１号 〒900-0031 ☎(098)868-5561

http://www.sinko.co.jp/ska/

新晃空調サービス株式会社

神奈川県秦野市西大竹124-5 〒257-0012 ☎(0463) 84-5811

http://www.sinko.co.jp/sks/

北海道地区のご用命につきましては、新晃工業株式会社札幌営業所にご連絡をお願いいたします。

新晃工業株式会社

本　　　社：大阪市北区南森町１丁目４番５号 〒530-0054 ☎(06)6367-1811
東 京 支 社：東京都中央区日本橋浜町2丁目５７番7号 〒103-0007 ☎(03)5640-4155
大 阪 支 社：大阪市北区南森町１丁目４番５号 〒530-0054 ☎(06)6367-1801
名古屋支社：名古屋市中村区名駅南１丁目２４番３０号 〒450-0003 ☎(052)581-8661
札幌営業所：札幌市中央区北2条西４丁目１番地 〒060-0002 ☎(011)231-2947
東北営業所：仙台市青葉区中央１丁目６番３５号 〒980-0021 ☎(022)262-7445
九州営業所：福岡市博多区冷泉町５番３５号 〒812-0039 ☎(092)291-8545
SINKOテクニカルセンター：秦野市菩提160番の1 〒259-1302 ☎(0463)75-1977

http://www.sinko.co.jp/

1505 2000S
SFI-15-A

SINKO

ファンコイルユニット
SL・SLR・ST・STR 型
ファンコンベクター
LW 型

工事説明書

1．安全にご施工いただくために

据付前によくお読みいただき、正しくお使い下さい。また、ユニットの本体に下記の記号が印刷されたラベル類が貼り付けてある場合、その箇所は特に注意して下さい。表示と記号の意味は次のようになっています。

● 危険の度合いを表す記号の区分

警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。
注意	取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、及び物的損害のみの発生が想定される場合。但し、この場合でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

●危険の内容を表す記号の区分

	記号は、警告･注意を促す内容がある事を告げるものです。図の中に具体的な注意内容 (左図の場合は回転体注意) が描かれています。
	記号は､禁止の行為である事を告げるものです｡図の中に具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	記号は、行為を強制したり、指示したり内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜いて下さい)が描かれています。

2．本体の取付・据付に関する注意事項

警告

据付工事は専門業者へ依頼する。

機器の据付に不備がありますと、水漏れや感電・火災の原因になります。据付工事は本工事説明書に従って確実に行って下さい。
据付工事に不備がありますと、感電・火災・水漏れの原因になります。

強度の不十分な箇所への据付け禁止。

機器の据付は、重量に十分に耐えれる所に確実に固定して下さい。固定が不十分の場合は、本体の落下・転倒によりケガの原因になります。

電気工事は関連法律を守って正しく施工する。

電気工事は電気工事士の資格がある方が｢電気設備に関する基準｣｢内線規定｣およびこの工事説明書に従って施工し、電源接続は必ず専用回路を使用して下さい。
電源回路容量不足や施工に不備があると、感電・火災の原因になります。

水質基準に適合した冷水・温水を使用する。

水質が悪いと、熱交換器等が腐食し、漏水する恐れがあります。
｢JRA-GL-02 冷凍空調機器用水質ガイドライン｣に準じる。

注意

納入仕様書も合わせて御確認下さい。

施工前に工事説明書と合わせて、納入仕様書も必ず御確認願います。記載内容は標準仕様品が対象の為、特殊仕様は製品の仕様が若干異なることが有ります。据付工事に不備がありますと、感電・火災・水漏れ・落下等の原因になります。

定格電圧以外での使用禁止。

本体の銘板に表示されている以外の定格電圧にて使用されますと、故障・火災・感電の原因になります。

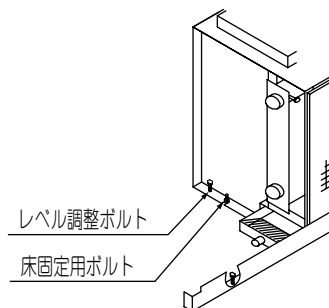
場所に応じて漏電ブレーカを取り付ける。

漏電遮断器が取り付けられていないと、感電の恐れがあります。

アース工事を確実に施工する。

アースを行って下さい。アース線はガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないで下さい。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

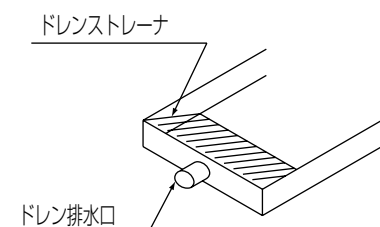
3．据付工事

- レベル調整ボルトで本体を水平に調整し、床固定ボルト（現地にて調達）で床面に確実に固定して下さい。
  固定強度が不十分な場合は、振動・騒音の原因になります。
- ファンコイル周囲は保守・点検の為のスペースを確保して下さい。
- 埋込型（SLR・STR 型）の場合は、本体の両側に必ず点検口を設けて下さい。
- 機械油・食油・塩分・湿気・粉塵の多い所、温泉地帯・硫化ガス・発揮性ガス等が充満している所、電圧変動の多い所に設置しないで下さい。

4．配管工事

＜冷温水配管工事＞

- 水出入口を間違わないように配管して下さい。
- 水出入口には必ずバルブを取り付けて下さい。
- 本体及び装置全体の水が抜ける位置に排水弁を設けて下さい。
- 管またはバルブ等を熱交換器に接続するときは、熱交換器に無理な力が掛からないようにして下さい。
- 管の切り口は「カエリ」を取り除き、ネジ部や管内はよく清掃して下さい。
- 配管の一部が本体に接触しないよう、また、保温・保冷を完全に施工して下さい。
- 水質が悪いと、熱交換器等が腐食し、漏水する恐れがあります。
  「JRA-GL-02 冷凍空調機器用水質ガイドライン」に準じた水質をご使用して下さい。

＜ドレン配管工事＞・・・LW 型は除く

- ドレンパンの排水口へ配管を接続するときは、ドレンパンに無理な力が掛からないようにして下さい。
- ドレンストレーナはドレンパン内部のドレン排水口の上部に嵌め込んで下さい。
- ドレン配管は結露防止の為、保温を必ず施工して下さい。
- ドレン配管は、排水勾配を十分にとり、逆勾配にならないように施工して下さい。
  （排水勾配１／100 以上）
- 配管後に、排水が確実に行なわれていることを必ず確認して下さい。

5．凍結の防止

- 水張り試験時等、冬期に熱交換器内の水が凍結する恐れがある場合には、循環ポンプを連続運転し水を循環するか、水張り試験時のみ不凍液を使用する等の処理を行って下さい。凍結すると、熱交換器が破損し、水漏れをおこします。

6．電気配線工事

- 結線の際は、納入仕様書の電気結線図を必ずご確認して下さい。
- 内部配線は工場で完了していますので電源を確実に接続して下さい。
- １つの運転スイッチで複数のユニットを連動運転する場合は、リレーユニットを必要とする場合があります。
  （機種によっては、ユニットに親機・子機の区別が有るので注意して下さい。）
  やもえず、異機種または異サイズ連動を行う際はリレーユニットが必要です。また、既設ユニットとの連動を行う場合は、双方のモータが同一使用であるか必ずご確認して下さい。
- アースは「内線規定」に基づいて施工して下さい。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
- 誤結線に十分注意して下さい。誤結線で運転しますとモータが破損・焼失します。

7．試運転方法

- パネル類・エアフィルタ等が取り付けられているか確認する。
- 電気配線に誤結線がないか確認する。
- 定格の電源電圧が供給されているか確認する。
- 運転スイッチによりファンの運転を行う。
- 熱交換器の出入口のバルブを開く。（通水の確認）
- エア抜き弁により熱交換器内のエア抜きを行う。この際に、エア抜きホースがドレンパンの内にあることをご確認して下さい。水漏れ等の原因になります。（LW 型は除く）

8．結露防止

- JISの結露条件にて結露水が滴下しないことを確認しております。下記の条件より厳しい条件で使用しますと結露水が滴下することがあります。

項　　目	試　験　条　件
冷水入口温度	5 ℃
吸込空気条件	DB27℃　WB24℃　RH78%
運　　転	低速運転で 4 時間連続運転

- ファンを停止したまま連続通水を行うと結露が起こりやすくなります。必ずファン停止時は通水を停止して下さい。

9．配管勝手の変更

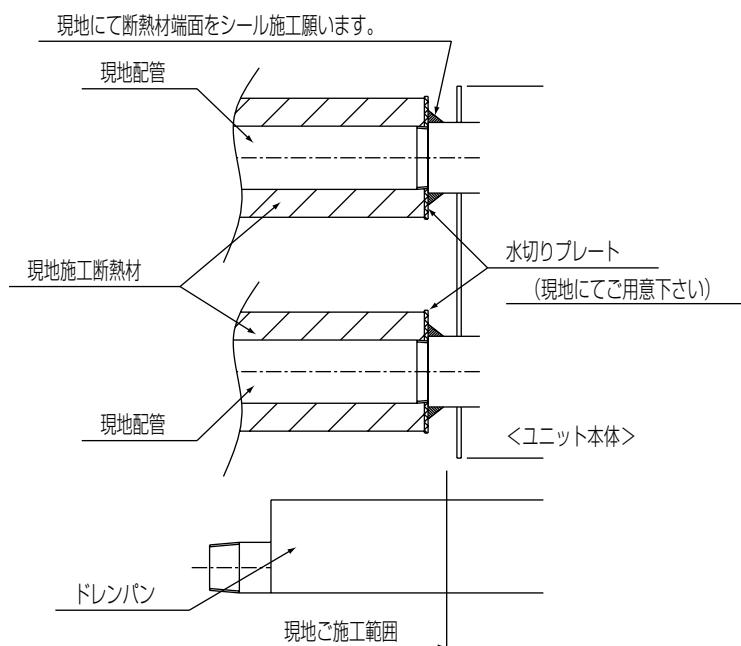
- 配管勝手の変更はできません。

10．付属品

- ドレンストレーナ（LW 型は除く）

● 配管防露施工要領（参考）

水漏れ防止の為、下記に注意して施工を行って下さい。

- 防露材の端面は、配管の結露水が吸収しないように水切り板等で確実に処理して下さい。
- 水切り板はドレンパン内に納まるように施工して下さい。
- 防露材と水切り板の隙間、及び配管と水切り板の隙間は確実にコーキング処理して下さい。
- バルブ等が付く場合は、必ずバルブ本体の防露施工も行って下さい。

新晃工業株式会社

東京本部：東京都中央区日本橋浜町２丁目57番７号　〒103－0007　TEL（03）5640－4150（大代表）

大阪支社：大阪市北区南森町１丁目４番５号　〒530－0054　TEL（06）6367－1801（代　表）

名古屋支社：名古屋市中村区名駅１丁目１番４号　〒450－6036　TEL（052）581－8661（代　表）

札幌営業所：札幌市中央区北二条西４丁目１番地　〒060－0002　TEL（011）231－2947（代　表）

東北営業所：仙台市青葉区本町１丁目２番20号　〒980－0014　TEL（022）262－7445（代　表）

九州営業所：福岡市博多区冷泉町５番35号　〒812－0039　TEL（092）291－8545（代　表）

空調機器の総合保守

保守・点検・修理のご用命は ——▶ **新晃アトモス株式会社**

東京本店：東京都世田谷区新町２丁目27番４号　〒154－0014
TEL（03）5450－6411（代表）

大阪支社：寝屋川市池田１丁目19番５号　〒572－0039
TEL（072）827－8211（代表）

九州出張所：福岡市博多区冷泉町５番35号　〒812－0039
TEL（092）291－4332（代表）

名古屋出張所：名古屋市中村区名駅１丁目１番４号　〒450－6036
TEL（052）589－1601（代表）

上記地区以外のご用命については
東北地区は新晃工業㈱東北営業所に
北海道地区は新晃工業㈱札幌営業所に
ご連絡をお願いいたします。

2003.05.1,000 Ⓚ

SINKO

ファンコイルユニット
CLIMATOR®
MH・MV 型

工事説明書

1．安全にご施工いただくために

据付前によくお読みいただき、正しくお使いください。また、ユニットの本体に下記の記号が印刷されたラベル類が貼り付けてある場合、その箇所は特に注意してください。表示と記号の意味は次のようになっています。

● 危険の度合いを表す記号の区分

⚠ 警 告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。
⚠ 注 意	取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、及び物的損害のみの発生が想定される場合。但し、この場合でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

●危険の内容を表す記号の区分

	記号は、警告・注意を促す内容がある事を告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は回転体注意）が描かれています。
	記号は、禁止の行為である事を告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	記号は、行為を強制したり、指示したり内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

2．本体の取付・据付に関する注意事項

⚠ 警 告

据付工事は専門業者へ依頼する。

機器の据付に不備がありますと、水漏れや感電・火災の原因になります。据付工事は本工事説明書に従って確実に行ってください。
据付工事に不備がありますと、感電・火災・水漏れの原因になります。

強度の不十分な箇所への据付け禁止。

機器の据付は、重量に十分に耐えれる所に確実に固定してください。固定が不十分の場合は、本体の落下・転倒によりケガの原因になります。

電気工事は関連法律を守って正しく施工する。

電気工事は電気工事士の資格がある方が「電気設備に関する基準」「内線規定」およびこの工事説明書に従って施工し、電源接続は必ず専用回路を使用してください。
電源回路容量不足や施工に不備があると、感電・火災の原因になります。

水質基準に適合した冷水・温水を使用する。

水質が悪いと、熱交換器等が腐食し、漏水する恐れがあります。
「JRA-GL-02 冷凍空調機器用水質ガイドライン」に準じる。

⚠ 注 意

納入仕様書も合わせて御確認ください。

施工前に工事説明書と合わせて、納入仕様書も必ず御確認願います。記載内容は標準仕様品が対象の為、特殊仕様は製品の仕様が若干異なることが有ります。据付工事に不備がありますと、感電・火災・水漏れ・落下等の原因になります。

定格電圧以外での使用禁止。

本体の銘板に表示されている以外の定格電圧にて使用されますと、故障・火災・感電の原因になります。

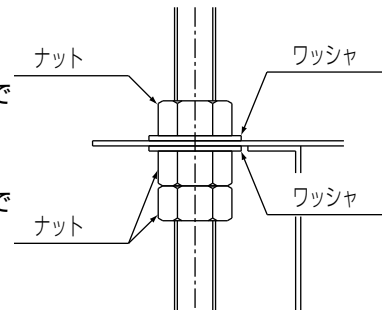
場所に応じて漏電ブレーカを取り付ける。

漏電遮断器が取り付けられていないと、感電の恐れがあります。

アース工事を確実に施工する。

アースを行ってください。アース線はガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

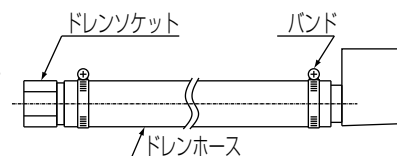
３．据付工事

- 吊り孔間寸法は納入仕様書にて必ずご確認してください。（MH 型）
- 吊り下げには、M10 のハンガーボルトを使用し、ワッシャ・ダブルナットでしっかり固定してください。
  又、本体が水平になるように調整をしてください。（MH 型）
- レベル調整ボルトで本体を水平に調整し、床固定ボルト（現地にて調達）で床面に確実に固定してください。
  固定強度が不十分な場合は、振動・騒音の原因になります。（MV 型）
- ファンコイル周囲は保守・点検の為のスペースを確保してください。
- 本体の配管勝手側に必ず点検口を設けてください。
- 機械油・食油・塩分・湿気・粉塵の多い所、温泉地帯・硫化ガス・揮発性ガス等が充満している所、電圧変動の多い所に設置しないでください。

４．配管工事

＜冷温水配管工事＞

- 水出入口を間違わないように配管してください。
- 水出入口には必ずバルブを取り付けてください。
- 本体及び装置全体の水が抜ける位置に排水弁を設けてください。
- 管またはバルブ等を熱交換器に接続するときは、熱交換器に無理な力が掛からないようにしてください。
- 管の切り口は「カエリ」を取り除き、ネジ部や管内はよく清掃してください。
- 配管の一部が本体に接触しないよう、また、保温・保冷を完全に施工してください。
- 水質が悪いと、熱交換器等が腐食し、漏水する恐れがあります。
  「JRA-GL-02 冷凍空調機器用水質ガイドライン」に準じた水質をご使用してください。

＜ドレン配管工事＞

- ドレンパンの排水口へ配管を接続するときは、ドレンパンに無理な力が掛からないようにしてください。
- ドレン配管と、ドレンパン排水口は付属のドレンホースで接続してください。（MH 型）
- ドレンホースは適当な長さに切断し、無理な曲がりを避け、ドレンパン排水口とホースバンドで確実に固定してください。（MH 型）
- ドレン配管は結露防止の為、保温を必ず施工してください。
- ドレン配管は、排水勾配を十分にとり、逆勾配にならないように施工してください。
  （排水勾配１／100 以上）
- 配管後に、排水が確実に行なわれていることを必ず確認してください。

５．凍結の防止

- 水張り試験時等、冬期に熱交換器内の水が凍結する恐れがある場合には、循環ポンプを連続運転し水を循環するか、水張り試験時のみ不凍液を使用する等の処理を行ってください。凍結すると、熱交換器が破損し、水漏れをおこします。

６．電気配線工事

- 結線の際は、納入仕様書の電気結線図を必ず確認してください。
- 内部配線は工場で完了していますので電源を確実に接続してください。
- １つの運転スイッチで複数のユニットを連動運転する場合は、リレーユニットを必要とする場合があります。
  （機種によっては、ユニットに親機・子機の区別が有るので注意してください。）
  やむをえず、異機種または異サイズ連動を行う際はリレーユニットが必要です。また、既設ユニットとの連動を行う場合は、双方のモータが同一使用であるか必ず確認してください。
- アースは「内線規定」に基づいて施工してください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
- 誤結線に十分注意してください。誤結線で運転しますとモータが破損・焼失します。

7．試運転方法

- エアフィルタが取り付けられているか確認する。
- 電気配線に誤結線がないか確認する。
- 定格の電源電圧が供給されているか確認する。
- 運転スイッチによりファンの運転を行う。
- 熱交換器の出入口のバルブを開く。（通水の確認）
- エア抜き弁により熱交換器内のエア抜きを行う。この際に、エア抜きホースがドレンパンの内にあることを確認してください。水漏れ等の原因になります。

8．結露防止

- JISの結露条件にて結露水が滴下しないことを確認しております。下記の条件より厳しい条件で使用しますと結露水が滴下することがあります。

項　　目	試 験 条 件
冷水入口温度	5℃
吸込空気条件	DB27℃　WB24℃　RH78%
運　　転	低速運転で4時間連続運転

- ファンを停止したまま連続通水を行うと結露が起こりやすくなります。必ずファン停止時は通水を停止してください。

9．配管勝手の変更

- 配管勝手の変更はできません。

10．付属品

- ドレンホース、クリップ、ドレンソケット（MH 型）
- 取扱説明書

● 配管防露施工要領（参考）

水漏れ防止の為、下記に注意して施工を行ってください。

- 防露材の端面は、配管の結露水が吸収しないように水切り板等で確実に処理してください。
- 水切り板はドレンパン内に納まるように施工してください。
- 防露材と水切り板の隙間、及び配管と水切り板の隙間は確実にコーキング処理してください。
- バルブ等が付く場合は、必ずバルブ本体の防露施工も行ってください。

新晃工業株式会社

東京支社	東京都中央区日本橋浜町２丁目５７番７号	〒103－0007	TEL（03）5640－4155
大阪支社	大阪市北区南森町１丁目４番５号	〒530－0054	TEL（06）6367－1801
名古屋支社	名古屋市中村区名駅南１丁目２４番３０号	〒450－0003	TEL（052）581－8661
札幌営業所	札幌市中央区北二条西４丁目１番地	〒060－0002	TEL（011）231－2947
東北営業所	仙台市青葉区中央１丁目６番３５号	〒980－0021	TEL（022）262－7445
九州営業所	福岡市博多区冷泉町５番３５号	〒812－0039	TEL（092）291－8545

空調機器の総合保守

保守・点検・修理のご用命は ⟶ **新晃アトモス株式会社**

東京本部	東京都江東区新大橋１丁目11番4号	〒135－0007	TEL（03）5638－3800
世田谷営業所	東京都世田谷区新町２丁目２７番４号	〒154－0014	TEL（03）5450－6401
大阪支社	寝屋川市宇谷町１１番１３号	〒572－0856	TEL（072）811－3160
東北支店	仙台市青葉区柏木１丁目２番４５号	〒981－0933	TEL（022）718－2770
九州出張所	福岡市博多区冷泉町５番３５号	〒812－0039	TEL（092）291－4332
名古屋出張所	名古屋市中村区名駅南1丁目２４番30号	〒450－0003	TEL（052）589－1601
沖縄営業所	沖縄県那覇市若狭２丁目３番２１号	〒900－0031	TEL（098）868－5561

上記地区以外のご用命については
北海道地区は新晃工業㈱札幌営業所に
ご連絡をお願いいたします。

2010.07.1,000 Ⓚ